

## 平成30年度沖縄空手会館指定管理者モニタリングシート（平成29年度実績分）

## I. 履行確認

## 1. 維持管理業務

## (1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 利用者が快適に施設を利用するために、日々の清掃を実施する。		○	毎日実施（3名） トイレ・シャワー室等は中性洗剤等を用いて毎日清掃。 道場施設、展示施設、特別道場は催事の開催前後に、会議室、閲覧室等は利用状況に応じて清掃を実施。 駐車場、園路は、巡回清掃を実施。	道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに指定管理へのヒアリング、業務日誌の確認等を実施。 日常清掃は、道場施設2名、展示施設1名の3名体制により毎日清掃が行われており、各施設清潔に保たれている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き衛生管理の徹底に取り組むこと。
〈定期清掃〉 定期的な巡回清掃を実施する。		○	年1回実施（5名） ガラスや道場施設、展示施設の床面、絨毯、屋外の石材床面などを専用の器具、洗剤による清掃を実施。	定期清掃では、ポリッシャー等の機材を使用するとともに、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。		

## (2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈環境衛生〉 施設を安全に運用するために衛生設備を徹底する。		○	残留塩素測定、水質検査を月に1回実施。貯水槽の清掃、空気環境の測定、鼠・昆虫等の除去作業を定期的に実施。	指定管理者へのヒアリング、環境衛生業務の報告書、巡回日誌の確認を実施。		
〈電気設備〉 〈消防設備〉 電気設備、空調設備、消防設備の検針、点検、清掃などの日常業務を徹底し、管理を行う専門スタッフを配置する。	○	○	巡回点検を実施し、防火設備及び破損・汚損等巡回日誌により情報を共有。瑕疵と思われる箇所（20件）はの県へ報告書を提出。 電気設備関係は電気保安協会と契約を締結し毎月設備点検を実施。 消防設備は豊見城消防署による消防査察を受けるとともに消防用設備・防火対象物定期点検を行い、結果報告書を提出。	環境衛生面では、委託先事業者による定期点検が行われていることを確認。 設備関係では、施設の点検、消防設備等の点検及び報告がされていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な保守点検を実施すること。

## (3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日〉		○	8時30分～21時30分の間、1名体制による警備を実施。	日常の警備業務を確認した他、指定管理者へのヒアリング、警備日誌の確認を実施。 開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる機械警備が実施され異常があった場合には警備員が急行する体制が構築されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な保安・警備を実施すること。
〈閉館日〉		○	8時30分～17時15分の間、1名体制による警備を実施。			
〈夜間〉		○	21時30分～翌8時30分の間、機械警備を実施。また25時頃には巡回警備を実施。			

## (4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件につき20万円未満のものについては指定管理者が実施。		○	ドアセンサー、雨戸用敷居、電灯の取り替え等を実施。 その他、点検により琉球石灰岩や建物内外壁の亀裂を発見、報告。建設工事の施工業者による補修を実施している。	補修箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリングを実施。 また、琉球石灰岩等の亀裂については、県施設建築課を通し補修報告書の確認を行った。 (建物内外壁の亀裂については今後補修予定。)	報告書のとおり、適切に実施されている。 外構の亀裂等は、適切に補修工事が実施されている。	良好。 建物内外壁の補修が今後予定されているため、関係者と調整の上、適切に実施すること。 また、今後も補修対象となる箇所の確認等、日常的な点検を継続して実施していくこと。

## (5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
なし		○	施設使用料金等の管理のための金庫を購入。	備品の現物を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。

## (6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防犯訓練、応急訓練の実施。AED、救急薬品等の整理。県及び警察、消防等の関係機関を含めた危機管理体制の構築、危機管理マニュアルの整備を実施する。	○		豊見城警察署と連携し、防犯（テロ訓練）及び避難訓練を実施。その他、火災時の避難訓練の実施、豊見城消防署への点検結果報告等を実施。	指定管理者へのヒアリングを実施し、危機管理マニュアルの整備状況を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。引き続き適切な防犯・防災対策に取り組むこと。

## (7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観覧料の収受	○		券売機を設置するとともに、施設使用料については窓口にて職員が料金徴収を行っている。	券売機（道場施設入口、資料室入り口）の設置、稼働状況、収受した現金の管理方法等を確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。

## 2. 運営業務

## (1) 利用実績

## 1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析	
利用者数	道場施設	道場（専用）	・1日利用×25団体 ・4時間利用×40団体	・1日利用者×66団体 ・4時間利用×76団体	264.0% 190.0%	新規施設のため、道場施設は計画値を大幅に上回る実績となった。次年度以降は、実績を踏まえた計画（目標）を設定し業務に取り組む必要がある。
		鍛錬室（専用）	・100時間	・951時間	951.0%	
		研修室（専用）	・200時間	・1,795時間	897.5%	
		小会議室（専用）	・150時間	・520時間	346.7%	
		鍛錬室（供用）	・児童500人 ・一般800人	・1,116人（一般・児童）	85.8%	
	展示施設	小学生・中学生	1,800人 (個人・団体)	1,623人 (個人・団体)	90.2%	
		高校生・大学生	500人 (個人・団体)	532人 (個人・団体)	106.4%	
一般		6,000人 (個人・団体)	7,173人 (個人・団体)	119.6%		

## 2) 施設稼働率

	事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
平均稼働率 (道場)	—	45.6%	—	事業計画において、稼働率を設定していないため評価ができない。次年度以降は、実績を踏まえた計画(目標)を設定し業務に取り組む必要がある。
平均稼働率 (鍛錬室)	—	62.5%	—	
平均稼働率 (研修室)	—	32.6%	—	
平均稼働率 (小会議室)	—	25.9%	—	

## (2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉 水曜日以外	閉館日 (水曜日) を除く311日開館	指定管理者へのヒアリングのほか、毎月の月報により確認。	報告書のとおり、適切に実施されている。 4回の臨時開館を実施。(5/3、8/2、8/16、10/25)	良好。
〈開館時間〉 道場施設：9時～21時 展示施設：9時～18時	道場施設：9時～21時 展示施設：9時～18時			

## (3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
館内掲示、HPによる空き状況の提供及びFAX等による申請受付を実施。外国人対応可能な職員の配置。	○		施設予約状況については2ヵ月分を館内掲示板並びにHPで提供し、電話では随時情報を提供している。予約申請書並びに利用許可申請書について電子メールやFAXで随時対応。外国人への対応は英語で対応している。	指定管理者へのヒアリングにより確認。管理事務所には外国語に対応できるスタッフが常駐している。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。

## (4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
国・県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携	○		別紙「広報活動」参照	指定管理者へのヒアリングにより確認。OCVB本社と連携した広報、雑誌等への広告掲載、視察対応等を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。

## (5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理のため、全職員に対する1回以上の研修を行う。	○		年2回の集団研修を実施するとともに全職員に対し個人面談を随時実施。課題・問題点等の懸念事項については定期的に職員会議を実施し注意喚起している。また、施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認。個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。	指定管理者へのヒアリング及び現場確認を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。

## 3. 自主事業

事業計画	事業報告書	整合性の検証	業務改善に向けた分析
空手教室 通年開催 500円×1,000名	・毎週(月)(火)(木)(金)の15:30～16:30で開催 ・通算401名参加 夏休み空手体験教室 ・8月19日、20日実施 (計24名参加) 児童空手体験教室 ・1月5日実施 (児童50名参加)	空手体験教室やレストラン運営では、計画値を大幅に下回る結果となった。MICEレセプション、ヨガ&体操教室では、計画はされていたものの実施されていない。	自主事業については計画どおりに進んだとは言えない状況にある。計画を下回った空手教室やレストラン等については、県民、観光客への周知方法も含め、実施内容を再検討する必要がある。また、MICEレセプションやヨガ&体操教室については、実施に至らなかった要因を分析し、次年度以降の計画に活かす必要がある。
MICE等レセプション 通年開催 6,000円×500名	OCVB本社と連携し「沖縄MICEプロジェクト「MICE商談会・意見交換会」を実施。タイ・マレーシア市場及び香港市場のバイヤー66名(44社)及び県内セラー68社に対する商談会場としてアピール及び意見交換会場として実施した。		
観光客・修学旅行生向け空手教室 通年開催 2,000円×300名	修学旅行生徒の誘致に向けて「沖縄修学旅行フェアin東京」への出展並びに都内旅行会社へのセールス活動を実施。 OCVB本社と連携し、公益財団法人全国修学旅行協会「修学旅行担当者招聘事業(14名)」を受入し修学旅行適地としての紹介宣伝を実施。 公益財団法人日本修学旅行協会月刊誌「教育旅行」において沖縄空手会館の設置目的の並びに「空手体験教室」が教育旅行に適していることを紹介した。		
ヨガ&体操教室 通年開催 500円×300名	実績なし		
レストラン/ショップ 営業	県下市町村自治会787カ所に対し空手会館の施設見学並びにレストラン・ショップの魅力を紹介する案内文書を発送。紙媒体、電波媒体等を活用しパブリシティ記事を発信している。那覇空港観光案内所やレンタカー各社、市内ホテル等にパンフレットを設置している。	ショップの運営は計画を上回る収益を上げているほか、計画段階には企画されていたにもかかわらず夏休み体験教室等の自主事業が実施されている。	
映画上映	ソニーアリアウムお出かけ上映会 ・7月16日実施(25回上映、267名視聴) 夏休み手作り体験教室「家族で手形アート」 ・8月19日、20日(計47名参加)		
その他	沖縄空手の「武」秘密モニターツアー ・10月25日実施(モニターツアー31名、トークライブ:45名) 沖縄空手見本演武会 ・1月18日実施(演武会55名、施設内覧会34名参加) 第九合唱プレ・コンサート ・2月25日実施(参加者80名) 開館一周年記念セレモニー ・3月4日実施(記念セレモニー55名参加) 開館一周年記念事業「はじめての空手」 ・3月4日実施(クイズラリー111名、体験教室:25名、空手エクササイズ30名、施設見学ツアー39名参加)		

## Ⅱ. サービスの質の評価

回収期間：平成30年1月～3月

回収件数：27件

回収方法：利用申請、精算の際に依頼

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
維持管理業務 施設・設備管理	<p>〈平均満足度〉 行幸啓に伴う警察との連携では施設の安全対策や警備体制に万全の態勢で挑み高い評価を受けた。 施設利用者からは施設や備品等の設備に関しては下記のとおり高い評価を受けている。</p> <p>〈改善要望〉 特になし</p>	<p>約12,000坪の広大な敷地の緑化整備、頻発する台風の事前対策や通過後の園内清掃等を強化、施設内フローア、窓、トイレ等の環境整備に努め、利用者からは高い評価をいただき満足度向上に努めた。 「防火設備及び破損・汚損等巡回」を定期的に行う事で補修箇所の早期発見に努めた。</p>	<p>設備面、衛生面において適切に対応できている。一方で利用者アンケートにおいて維持管理業務に対する項目がないため、一般利用者からの要望が確実に拾えているとは言えない状況である。アンケート項目の見直しを図る必要がある。</p>
運営業務 接客対応	<p>〈平均満足度〉 顧客満足度の向上並びに社員教育に生かす目的に「スタッフの対応・マナー等」についてアンケートしたところ満足88.9%、ある程度満足3.7%、普通7.4%となった。</p> <p>〈改善要望〉 スタッフの対応やマナーが悪いとの回答は無かった。</p>	<p>概ね高い評価を受けているが、今後とも顧客満足度の向上を目指し、職員研修の実施等、社員教育に努める。</p>	<p>外国人利用者への対応を含め適切に対応できている。引き続き丁寧な接客に取り組むことが望まれる。</p>
施設・設備	<p>〈平均満足度〉 備品の充実度について調査したところ満足70.4%、やや満足11.1%、普通11.1%、やや不満足が7.4%となった。</p> <p>〈改善要望〉 ・天吊りスピーカー等音響設備の充実。 ・大型スクリーンの整備。又はプロジェクター2台接続するための分岐ケーブルの整備。 ・来場者の交通機関を確認したところ自家用車が77.8%、タクシー11.1%、その他7.4%、公共バス3.7%となっている。 ・駐車場については満足44.4%、ほぼ満足33.3%、普通7.4%、やや不満7.4%、不満0%となっている。</p>	<p>県空手振興課との月例定例会議において現状を報告。次年度以降に備品の充実を図るよう要望している。 豊見城市役所と連携し、豊見城城址公園内空き地の駐車場の利用について便宜供与を受けている。今後とも連携を強化して取り組んでいく。</p>	<p>備品については、利用者からの要望をもとに、連絡調整会議等で協議しながら進めて行く必要がある。 駐車場については、大規模イベントの際に不足する状況にある。豊見城城跡地利用計画等も確認の上、市とも連携し利便性の向上に取り組む必要がある。</p>

利用条件	<p>沖縄空手会館を利用した感想は、非常に利用しやすいと回答したのが59.3%、利用しやすいが37.0%と両方の回答で96.3%の利用者が高く評価している。</p> <p>利用手続きの感想は特に問題なしが74.1%、普通18.5%となっている。離島からの利用者からはWEB申込の要望もある。</p> <p>〈改善要望〉 全館利用の場合でも一般が利用できるように施設の一部を調整してもらいたいとの意見がある。</p>	<p>施設利用料金が低廉で、新しく奇麗、施設・設備が充実している等、機会あるごとに利用したいとのリピーターが急増している。今後とも公平・平等を原則に施設の稼働率向上に努める。</p>	<p>満足度は高く評価できる。一方で、空手以外の目的での利用が増加傾向にあり、施設の設置趣旨を踏まえ、空手利用を促進する取組みや制度設計が必要である。</p>
教室・プログラム	<p>〈平均満足度〉 空手体験教室や空手体験イベントについては、アンケートは行っていないが体験者からの満足感等、高い評価を受けている。</p> <p>〈改善要望〉 空手体験教室参加者からは空手着のレンタル要望が高い。</p>	<p>MICEや教育旅行の受入を強化する目的に沖縄伝統空手道振興会と連携し、空手体験プログラムの実施体制を早急に整備し、受入れ態勢の充実を図る。</p>	<p>体験プログラムごとにアンケートを回収するなど、満足度の高いイベントや集客力のあるイベントを分析し、より充実を図る必要がある。</p>
自主事業	<p>〈平均満足度〉 開館1年目は自主事業計画の構築に対し、事業実施が大幅に遅れている現状がある。</p>	<p>自主事業の展開は会館使用料収入と並ぶ財源確保の重要課題である。このことからOCVB本社公益事業との連携を強化し、効率的な広報展開を図りながら、自主事業の内容充実を図る。</p>	<p>自主事業として運営しているレストラン、売店、その他の事業、それぞれで満足度、要望を調査できるようにアンケート項目の見直しを図る必要がある。</p>
総合評価・自己評価		<p>カーナビゲーションが旧道路に案内し道に迷い込む事例が多発。このことから当管理事務所ではマップコードを取得し利用者の利便性向上を図った。</p>	<p>全体として、利用者からの評価は高い。利用者の意見をより反映できるように、アンケートの回収方法を見直し回収数を上げる工夫を行うとともに、利用者からの評価・意見を分析しやすいようにアンケート項目を見直す必要がある。</p>
		<p>大型催事開催における駐車場不足に関しては豊見城市が所有する豊見城城址公園内空き地を臨機応変に対応していただけよう調整した。</p>	
		<p>OCVB本社公益事業と連携することで効率的且つ効果的な事業が展開できた。</p>	



## III. サービスの安定性評価

## 1. 事業収入

## (1) 収入

(千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	道場施設	1,050	6,662	634.5%	
	展示施設	1,950	3,084	158.2%	
指定管理料		63,000	63,000	100.0%	
自主事業収入	レストラン	15,000	4,580	30.5%	
	売店	3,000	5,311	177.0%	
	空手体験教室	1,750	203	11.6%	
	その他	3,250	550	16.9%	
合計 (A)		89,000	83,390	93.7%	
〈業務改善に向けた分析〉					
<p>利用料金収入については、新規施設のため実績がなく、利用実態に近い計画を立てることが困難であった。今後はこれら実績を踏まえた計画（目標）を設定し業務に取り組む必要がある。</p> <p>自主事業収入については、レストランや空手体験教室が計画値を大きく下回る結果となっている。メニューやプログラムの改善を図るとともに、一般県民、観光客への広報を強化する必要がある。</p>					

## (2) 支出

(千円)

支出項目	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費	40,171	39,404	98.1%	
謝金	600	30	5.0%	
旅費	773	410	53.0%	
食料費	84	152	181.0%	
消耗品費	1,080	1,083	100.3%	
印刷製本費	1,000	363	36.3%	
燃料費	107	27	25.2%	
被服費	112	41	36.6%	
修繕費	2,100	50	2.4%	
光熱水費	6,929	15,224	219.7%	
商品仕入費	2,700	6,104	226.1%	
通信運搬費	1,090	240	22.0%	
広報宣伝費	1,000	557	55.7%	
支払手数料	300	398	132.7%	
委託費	22,483	21,561	95.9%	
賃借料	2,535	2,468	97.4%	
備品購入費	1,000	112	11.2%	
保険料	500	125	25.0%	
租税公課費	3,521	69	2.0%	
負担金	60	0	0.0%	
交際費	100	0	0.0%	
渉外費	426	0	0.0%	
雑費	329	201	61.1%	
合計 (B)	89,000	88,619	99.6%	
〈業務改善に向けた分析〉				
<p>人件費、委託費は概ね計画どおりの水準となっている。</p> <p>光熱水費が計画を大幅に上回る結果となっているため、実体に沿った計画を策定する必要がある。</p>				

## 2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)－支出(B))	0円	△ 5,229千円	—	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	3.4%	11.7%	346.7%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	45.1%	44.5%	98.5%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	25.3%	24.3%	96.3%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)	—	1,328.0円	—	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)	—	944.1円	—	
(業務改善に向けた分析)  事業収支がマイナスとなっており、自主事業の改善を中心に収入の増に向けた取組を強化する必要がある。				

## ※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費／支出	支出の中で人件費が減らされすぎているか、それにより効率が低下していないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

No.	月 日	場 所	内 容
1	4月2日	全施設	ティーウェイ航空韓国AGT関係者視察対応
2	4月4日	展示棟	翁長県知事参列による「EXILE」作品除幕式
3	4月7日	全施設	OCVB営業推進課「商品販促」に向けた視察研修対応
4	4月11日	全施設	玉城美香「旅チャンネル」番組収録
5	4月14日	全施設	RBC「島人の宝」番組収録対応 4月30日（日）放送
6	4月20日	全施設	海外就航航空会社関係者「商品造成」に向けた視察対応
7	4月21日	全施設	OTV「沖縄モンドウォーカー」取材対応 5月6日放送
8	4月26日	全施設	OCVB職員研修（MICE施設としての販促に向けて）
9	4月28日	全施設	沖縄県観光整備課職員研修・視察への対応
10	5月5日	全施設	イギリス新聞取材対応（OCVB誘客事業部連携事業）
11	5月15日	武道場棟	沖縄空手会館 ⇄ 大阪教育大学付属平野小学校（105名）遠隔授業実施
12	5月29日	市内	沖縄空手会館及び空手体験教室案内パンフレットの設置依頼で営業する（JICA、市内各ホテル、レンタカー協会、那覇空港観光案内所等）
13	6月10日	全施設	森永乳業「ルイボス茶」CM撮影対応 7月1日より放送
14	6月12日	鍛錬室	空手体験教室の回数を拡大。月曜日は2回、（火）（木）（金）は1回（15：30）をスタート。案内チラシとポスターを那覇空港観光案内所、市内ホテルへ配布スタート。
15			沖縄空手会館案内リーフレット3万部追加発行。レンタカー協会、ホテル組合、県外事務所に配布。
16		全施設	au・webプロモーション取材対応/6月中旬よりau 鹿が会館を紹介する。
17	7月16日	沖縄県立武道館	第29回タイムス全沖縄少年少女空手道大会会場においてブースを出展し「沖縄空手会館」のPRに努める。
18	7月6日	全施設	米軍「星条旗新聞」空手会館記事の掲載
19	7月9日	特別道場前	OTV泡盛普及CM撮影対応。9月上旬から放映開始予定
20	7月18日	全施設	中部観光バスガイド視察研修対応（15名）
21	7月21日	全施設	中部観光バスガイド視察研修対応（15名）
22	7月29日～30日	OC C	第10回夏休みこども自由研究in沖縄コンベンションセンターにPRブース出展。
23	8月8日～9日	東京	沖縄修学旅行フェアin東京への出展並びに都内旅行社営業活動 会場：WTCコンファレンスセンター38階フォンテース
24	8月18日	全館	株式会社しまのやユーザー向け雑誌「ちゅらしま」にて沖縄空手及び沖縄空手会館紹介。冊子内沖縄そば放浪記でそば処「手」も紹介する。
25	8月22日	全館	RBC「ザ・ニュース」夏休み最後に行きたい施設紹介として生放送する。
26	8月24日	武道場	県広報番組「うまんちゅ広場」県系ブラジル人留学生が文化体験で空手体験教室に参加。その様子を撮影・放送する。
27	8月24日～29日	東京	東武百貨店池袋店「第2回島の恵み、あふれる。沖縄展」にPRブース出展。沖縄空手会館記念切手、Tシャツ、工芸品等も販売する。
28	9月7日	武道場 特別道場前広場	沖縄MICEプロジェクト2017（海外市場） 商談会：10：00～17：00 意見交換会：18：00～20：00
29	9月上旬販売	全施設	JALJTAセールスwebサイト「JAPAWALK OKINAWA」で紹介
30	9月8日	特別道場、展示資料室	OTV「ひーぷー☆ポップ」進め！沖縄県公認 沖縄21世紀ビジョン探検隊～出張版～番組撮影（放送日：10月7日（土）18：00～）
31	9月	全施設	地球の歩き方MOOKハンディ「沖縄の歩き方2018-19」取材対応。沖縄ニュースコーナーにて沖縄空手会館紹介。12月14日発売
32	10月15日	全施設	空手の日に連動し、沖縄空手会館をテレビ番組で紹介。番組名：RBC「沖縄BON!!」/放送日：10月28日（土）放送時間08分30秒
33	10月20日	全施設	雑誌an・an取材対応。日本生命タイアップ企画「美の秘密「空手」の源流を訪ねる」として空手は沖縄が源流であることを踏まえ「美しさ＝空手＝沖縄」のイメージで編集。全6P、別冊8P版を日生レディが配布する。11月22日発売号
34	9月調整	展示資料室	沖縄第一交通（株）「琉球文化欲ばり体験コース（観光タクシー）」としてコースに組み入れる。コース：首里琉染⇒沖縄空手会館⇒くうーすの杜忠孝蔵（酒蔵見学）10月下旬から販売
35	11月16日	展示資料室	映像シアター多言語放送開始（ロシア語、フランス語、スペイン語、英語、ドイツ語、中国語、日本語 計7カ国語）
36	11月16日	全施設	豊見城市立長嶺小学校6年生3クラス90名「企業見学」の受入
37	11月18日	JICA	JICA沖縄「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2017」に沖縄伝統空手道振興会と協力し出展。沖縄の空手並びに沖縄空手会館をPRした。
38	12月5日	全施設	内閣府審議官幸田徳之氏視察対応
39	12月8日	全施設	OCVB主催事業「PCO/AGTキーパーソン招聘事業」にて沖縄空手会館をMICE施設として紹介・宣伝する。（12社14名）

No.	月 日	場 所	内 容
40	12月8日	全施設	島尻地区小中学校校長会への視察対応（参加者62名）一校外学習・社会見学施設としてのPR
41	12月14日	全施設	FMとよみ番組取材対応「パーソナリティ赤瓦ちよーびんが行く豊見城市内の観光名所」（豊見城市観光課委託事業）
42	12月21日	全施設	沖縄空手会館施設見学案内文書を郵送（本島内市町村自治会787カ所宛）
43	1月5日	全施設	RKK熊本放送ラジオ番組「大田黒浩一のきょうも元気！」に電話出演し、沖縄空手並びに沖縄空手会館の魅力を紹介した。10：30～約5分間
44	1月15日	全施設	RBC「琉球サウダージ」TV番組撮影一空手にまつわる歴史・文化を沖縄空手会館の画を交えて紹介。放送は2月3日、10日、17日、24日各11：24～約3分 その他トヨタ広報誌に掲載
45	1月17日	全施設	NHK沖縄総合「おきなわHOT（18:10～19:00）」「沖縄ちゅらTV（11:45～12:00）」内で番組名「沖縄カルチャー探訪」として沖縄空手会館を紹介。取材11月30日
46	2月1日	全施設	沖縄県・OCVB発行「沖縄修学旅行ナビ」で沖縄空手会館を紹介するために動画撮影した。
47	2月1日	全施設	「観光とけいざい」第958号2月1日発行号にて沖縄空手会館はMICEに適した施設として業界向けに紹介・宣伝した。
48	2月7日	JTAメンテナンセンター	JTA空手ジェット「空手発祥の地・沖縄」特別デザイン機就航セレモニーへの参加
49	2月11日	全施設	OCVB主催事業：全国修学旅行協会「修学旅行担当者招聘事業」視察受入（14名）ー 沖縄空手会館が修学旅行受入適地であることを紹介宣伝し
50	2月12日	全施設	ピーチアビエーション井上CEO他視察案内
51	2月12日	全施設	外務大臣政務官堀井巖氏（参議院議員）視察案内
52	2月17日	全施設	OCVB主催事業：公益財団法人日本修学旅行協会月刊誌「教育旅行」取材対応。当該誌を通して全国小・中・高等学校修学旅行担当者に沖縄空手会館を紹介・宣伝する。
53	2月24日	全施設	HIS新宿沖縄専門店担当職員の商品造成に向けた下見対応
54	2月27日	案内センター	「沖縄伝統空手道振興会／沖縄空手会館」連絡会議をスタート。以降、第4火曜日13時半を定期に開催する。
55	3月11日	特別道場	OCVB沖縄観光PR事業「Be.Okinawa」グラフィック撮影対応
56	3月18日	全施設	福井照沖縄北方担当大臣の沖縄空手会館視察対応
57	3月19日	全施設	OCVB事業所セールスツール撮影（ドローン撮影）
58	3月29日	全施設	沖縄地方事情御視察行幸啓（天皇皇后両陛下）
59	3月30日	展示室	県主催事業「沖縄空手流派企画展 上地流 剛柔流」スタート